オートチェッカ50周年

動いている物の質量を量る、ダイナミック計量技術。
1964年以来、アンリツはこの技術でお客さまの工場の生産性を向上させ、正確な計量と信頼性の高い検査を通じて、食の安全に貢献してきました。
そして、アンリツはこれからも技術に磨きをかけ、検査機のリーディングカンパニーとして走り続けます。

SSVシリーズオートチェッカ

◉X線検査機　◉金属検出機　◉重量選別機
◉自動電子計量機　◉生産管理システム

Anritsu
アンリツ産機システム株式会社

http://www.anritsu-industry.com/ja-JP/
〒243-0032 神奈川県厚木市恩名5-1-1
TEL(046)296-6700(代)
アンリツ　SSVオートチェッカ　検索

出展情報
2014東京国際包装展　東ホール 6-53

包装機械のためのセンサソリューション

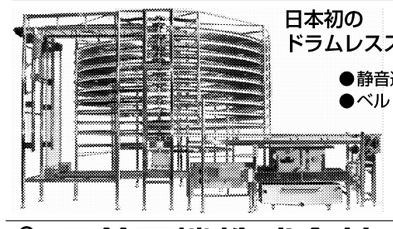
PEPPERL+FUCHS

2014 東京国際包装展
2014年10月7日(火)～10月10日(金)　東京ビッグサイト 東ホール　小間番号：6-69

株式会社 ピーアンドエフ
〒226-0006 横浜市緑区白山1-18-2 ジャーマンインダストリーパーク
Tel.045-939-7802　Fax.045-939-7804　e-mail: fa-info@jp.pepperl-fuchs.com　http://www.pepperl-fuchs.co.jp

MISUZUは総合エンジニアリングメーカーとして省人省力化のシステムを提案します。
《TOKYO PACK 2014 ブース東6ホール 6-74》

【1】DLC ドラムレス スパイラルコンベヤ



日本初の
ドラムレススパイラルコンベヤ
●静音運転を実現！
●ベルト洗浄機付！

【2】MTX BP-200・350 ボウル転倒式ハイスピードミキサー

ソフト生地からハード生地まで
幅広く対応可能
●シャフトレスプレート採用により
チョコチップ・ナッツ・レーズン等の
生地混合もむらなく短時間での
仕上がりを可能にしました。

弊社ホームページはこちらです

三鈴工機株式会社　http://www.misuzukoki.co.jp　E-mail : info@misuzukoki.co.jp
本社営業部　三重県四日市市楠町北五味塚530番地　TEL 059-397-3211　FAX 059-397-3217
東京支店　東京都港区芝大門1丁目2番1号（大門KSビル3階）　TEL 03-3434-2936　FAX 03-3434-2939
大阪支店　大阪市中央区南船場2丁目10番20号（南船場溝呂木ビル5階）　TEL 06-6241-1091　FAX 06-6241-1093
■カタログの請求、お問い合せは――
FFA & MHE MISUZU
MISUZUKOKI CO.,LTD. 20001923 ISO9001

きょう開幕

10日まで東京ビッグサイト

TOKYO INTERNATIONAL PACKAGING EXHIBITION 2014

TOKYO PACK 2014

包装の全分野をカバー

TOKYO PACK2014（2014東京国際包装展）がきょうから10日（金）までの4日間、東京・有明の東京ビッグサイト東ホールで開かれる。主催は日本包装技術協会。調達から生産、流通、販売、消費、リサイクルに至るまであらゆる分野をカバーし、包装機械、流通システム機器などが展示される。開場時間は10時から17時まで。入場無料（登録制）。

TOKYO PACKは1966年にスタートして以来、隔年で開催し、25回目を迎える。今回のテーマは「ここで見つかる、包装のチカラ」。出展規模は前回比約10％増の654社・団体、2495小間となり、併催行事も拡充するなど〝チカラ〟を入れている。同展では包装機械と包装資材・容器がバランス良く出展されるほか、印刷・包材加工機械、食品・医薬品加工機械、検査・計量機材、包装デザイン、流通・物流システム機などが出展される。調達からリサイクルに至るまであらゆる分野をカバーする世界でも有数の展示会となっている。

国際展示会として海外からの出展者数は回を重ねるごとに増加している。今回は欧州や北米、アジアなど15カ国・地域から133社、180小間が出展。来場登録者数7万人を見込むが、そのうち3000人が海外登録者と見込んでいる。会場ではインターナショナルラウンジを設けたり、英語表記を充実させたりし、海外来場者へのサービスを充実させた。

主催の日本包装技術協会では、包装商品を展示会場へ持ち込むことを推奨している。出展者とより具体的にスムーズな相談ができるように「パッケージソリューションシート（PSシート）」も導入。ホームページ（HP）からダウンロードでき、現在使用している包装形態や機器、検討している包装の材料や形状などを書き込むようになっている。また、どの出展者に相談すればよいかわからない場合は「パッケージソリューションコーナー」で包装の専門家に相談することもできる。

「パッケージデザインパビリオン」では、商品の顔ともいえるパッケージデザインの付加価値を高め、販売力を向上させるヒントを紹介。「パッケージデザイン問診票」をHPからダウンロードしてデザイナーと相談もできるほか、実際にパッケージデザインを体験できるワークショップも開かれる。

また今回は「次世代高機能包装パビリオン」と「医薬品包装パビリオン」を新設した。次世代高機能包装パビリオンは〝加飾・印刷技術〟〝エコ・フレンドリーパッケージ〟〝鮮度保持・ロングライフパッケージ〟の三つのテーマに焦点をあてる。医薬品包装パビリオンでは〝医療過誤防止包装（付加価値・機能性包装）〟をテーマに、法規や最新技術、トレンドなどを紹介する。

恒例の「2014グッドパッケージング展」も開催。日本包装技術協会が毎年行っている日本パッケージングコンテストの入賞作品を展示する。材料、設計、技術、デザイン、アイデア、環境対応、適正包装などあらゆる機能からの審査をクリアした国内最高水準のパッケージが並ぶ。

そのほか4日間で90本を超える講演やセミナーを企画しており、併催行事は前回以上に充実している。スペシャルゲストセミナーは、7日13時からの中部大学総合工学研究所の武田邦彦教授による「包装の社会的意義とエネルギー」と、8日13時からの早稲田大学国際学術院の池田清彦教授による「生物にとって界面（包装）とは何か」を開催する。

4日間の期間中、東6ホールのセミナーステージ5では、出展者による最新包装技術セミナーが全22セッション行われ、展示や実演だけでは伝えきれない技術・サービスを紹介する。参加は当日先着順で受け付ける。

また、東3ホールのセミナーステージ3では毎回人気の「包装力向上セミナー」が行われる。エコロジーや安全・安心のほか、ユニバーサルデザインから一歩進んだ誰もが使いやすい共用のデザインという意味のアクセシブルデザインなど、包装実務者に必要不可欠な旬のトピックスを取り上げる。当日、午前9時半から整理券を配布する。

海外動向を知る機会となるのは、7日の「台湾パッケージングフォーラム」や、8日の国際包装プレス連盟メンバーの包装ジャーナリストが登壇する「世界の包装ジャーナリストによるトレンドセミナー」などがある。

また世界的な課題であるフードロス削減に関して、グローバルな動向分析や国の施策、食品メーカーの方向性、パッケージによる鮮度保持技術の四つの局面から今、私たちができることを考えるセミナーも開かれる。

これらの多彩な催しで包装産業の関係者が一堂に集結。包装業界をアピールする場として、また商談や技術交流、マーケティングの場としても期待される。

包装実務者向けの包装力向上セミナーは人気の企画

開催にあたって

包装産業の活力ある発展を

日本包装技術協会会長
尾﨑　元規

TOKYO PACK（東京国際包装展）は今回、25回目を迎え、きょうから10日までの4日間、東京ビッグサイトにおいて開催の運びとなりました。ようやく国内経済に明るい兆しが感じられるようになったとは言え、包装産業においては、消費税率引き上げや原材料の高騰など景況感には依然として厳しいものがございますが、今回もまた内外より600社以上が出展者として参加し、国際展にふさわしい陣容を整えることができました。多くの関係各位のご支援ご協力のたまものと深く感謝申し上げます。

日本の包装産業は今、社会に調和した包装の実現に向けた挑戦を通して、持続可能な社会形成への貢献が大きな命題となっております。当協会はこうした変化の中で昨年創立50周年を迎え、この機に、持続可能な社会形成に向けて、公益事業の推進と強化に叡智（えいち）と努力を傾注し、豊かな社会の構築と活力ある包装産業の実現を目指すための課題について宣言しました。

今年度は関係各位のご支援のもとに、これら宣言内容の啓発と具体的な実現に向けた活動の実施に取り組んでおりますが、きょうから始まります本展示会もその活動の一つとして開催されます。本展が包装情報の発信の場として、また次世代包装を考える場として、一層の充実を図るとともに、包装産業の活力ある発展と社会生活の向上、さらに国際相互の理解を促進できるような機会となるよう願ってやみません。

本展を通して、包装関係者はもちろんですが、消費者の方々も含むご来場の皆さま方に改めて包装の果たす新しい役割や重要性をより深くご理解いただけるものと確信しております。

また、今回も開催期間中には恒例のグッドパッケージング展や多彩に企画されたセミナーなど、いろいろな催しが会場内で実施されます。ぜひこれら行事にも多くの皆さまにご参加いただき、実りある成果を得られますことを期待したいと存じます。

2014年10月7日(火)～10日(金) 東京ビッグサイト
TOKYO PACK 2014
OCT.7～10, 2014 TOKYO BIG SIGHT
包装のすべてがここに
東6ホール 6-26

紙器・段ボール用刃物製造専門
近畿刃物工業株式会社

■本社・第一工場
〒570-0003大阪府守口市大日町3-33-12
TEL:06-6901-1221　FAX:06-6905-9713
■第二工場・第三工場
〒570-0002大阪府守口市
佐太中町1-9-20

段ボール用の「刃物」部分をユニット化　国際特許取得
日本 PAT.3622056号
中国 ZL200480018885.2
アメリカ US7,631,586 B2

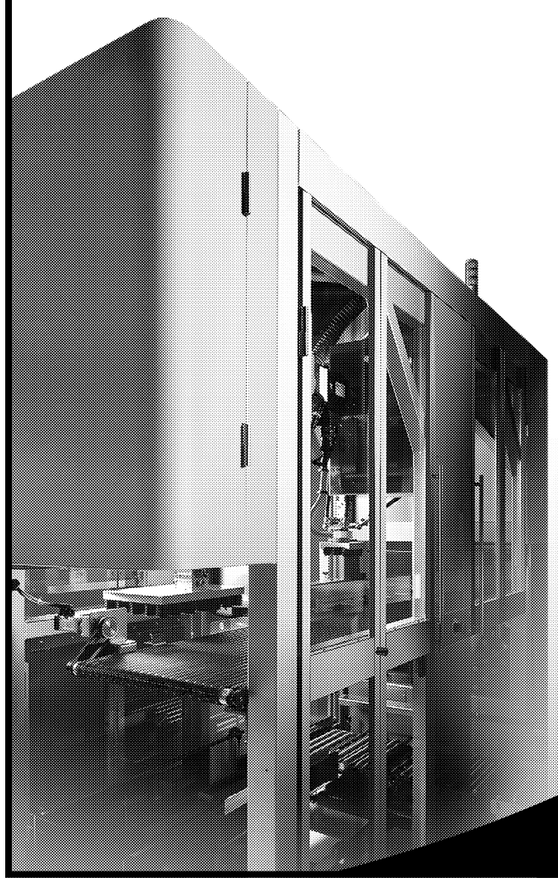
国際品質規格　ISO9001:2008認証取得
登録範囲：
ダンボール加工刃物の設計・開発、製造及び再研磨

詳しくはホームページをご覧ください
http://www.kinkihamono.co.jp
近畿刃物　検索

常に変化、進化を続ける
”挑みの会社”を目指して！

ISHIDA
はかりしれない技術を、世界へ。

TOKYO PACK 2014
会期　2014年 10月7日(火)～10日(金)　10:00～17:00
会場　東京ビッグサイト 東4ホール　4-05



新型ケーサー
実演!!
パラレルリンク機構を搭載し、
多彩な箱詰めに
フレキシブルに対応!

All ISHIDA でトータルサポート
運ぶ　はかる　包む　検査する　出荷する

株式会社イシダ　www.ishida.co.jp
東京支社　東京都板橋区板橋1丁目52番1号　TEL 03-3962-4300(直)